

授業科目名	介護等体験	教員名	富高 啓順 杉田 康之 (実務経験のある教員)	免許・資格との関係	小学校教諭 幼稚園教諭 保育士 こども音楽療育士	必修
授業形態	実習	担当形態	複数			
科目番号	KAI301	配当年次	3年前期	卒業要件	小幼コース 幼保コース	必修 選択
単位数	1単位					
科目	大学が独自に設定する科目 (小学校)					
施行規則に定める科目区分又は事項等						
科目						
系 列						
一般目標	<p>社会福祉施設(障害児・者支援施設、老人福祉施設、児童福祉施設)での介護等体験を通して、高齢者や障害児・者等の方々との触れ合いや交流を深めることで、高齢や障がい等に関わらず、それぞれが豊かな個性や能力を有していることや人としての尊厳の意味を理解する。</p> <p>また、県立特別支援学校での介護等体験を通して、障がいについての理解を深めるとともに、必要とされる援助方法や教育のあり方等を学びこれからの教育の場に生かすことを目指す。</p>					
到達目標	<p>社会福祉施設等において援助を必要とする子どもたちや障害者、高齢者等の利用者に対する業務を直接体験し、個人の尊厳や社会連帯の認識を深めることができる。</p> <p>また、受入れ施設職員に求められる資質や能力、技術を理解・習得するとともに、福祉サービスを企画・実施できる広い視野を養うことができる。</p>					
授業の概要	<p>障害児(者)支援施設(知的、身体障害)、特別養護老人施設等の社会福祉施設で5日間の体験活動を行い、利用者の障害特性や高齢者の理解を進める。また、特別支援学校での2日間の授業や行事参加活動を通して、生徒との交流を深め、障害特性の理解や対人援助方法について学ぶ。</p> <p>授業方法・形態は実習とし、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習方法であるアクティブラーニングを取り入れる。具体的には、事前指導で見つけた課題を、介護等体験等において課題解決を図るアクティブラーニングの形を取りながら行う。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「2.教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている。」「3.教育者として、持つべき十分な記述力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている。」「4.教育に関連する事柄について、継続的・主体的に学ぶ学習能力を身につけている。」「5.教育実践力を身につけている。」「6.教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>					
授業計画	<p>第1回：学内オリエンテーション 体験実習における留意事項の説明及び利用者との接し方(人権尊重・守秘義務等)についての指導 ・学外講師(2名)による「社会福祉施設の現状と実習生に望むこと」についての講義 ・学内講師による介護等体験の意義と目的、留意事項についての講義</p> <p>第2回：6月初旬～1月下旬の5日間(1日8時間) 宮崎県社会福祉協議会の受入れ施設計画に基づき、高齢者、障害者、児童福祉施設等における施設オリエンテーション、生活援助(食事・身辺整理、洗濯等)、余暇活動参加、話し相手及び移動介助等の体験実習を行う。</p> <p>第3回：5月下旬から6月上旬の2日間(1日8時間) 特別支援学校における校内体験実習 ・児童生徒の障害特性を理解し、決められた生活時間に従って児童生徒の支援や交流に当たる。 ・児童生徒と共に現場実習を体験し交流を図る。</p> <p>第4回：学内事後指導―振り返りの記録・感想等により、施設利用者についての理解を深める。 期末試験：オリエンテーション後のレポート及び実習記録簿等により評価を行う。</p>					
学生に対する	オリエンテーション参加と体験先の参加状況報告により、秀・優・良・可・不可判定を行う。					

評 価	
授 業 外 学 習 に つ い て	(事前・事後学習として週2時間以上行うこと。) 事前学習：実習については、事前の留意事項を毎日確認して臨むこと。また、実習における指摘事項を次の日の実習に生かすこと。 事後指導：実習終了後に、振り返りの記録を必ず記述しておき、指示に従いレポートとして提出するほか、以降の改善に生かすこと。
テ キ ス ト	特になし
参 考 書 ・ 参 考 資 料 等	・教育職員免許法施行規則等の一部を改正する省令等の施行について（通知） ・教育職員免許法の特例による「介護等体験」社会福祉施設等受入調整事業実施要項
担 当 者 か ら の メ ッ セ ー ジ	特になし
オ フ ィ ス ア ウ ー	富高：毎週火曜日 13:00～16:00 杉田：毎週木曜日 13:00～16:00
備 考	担当教員は、小学校・中学校における教員・校長としての経験を活かし、実習指導を行う。